



# 京臨技会報

KYOTO ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS

発行所 (社)京都府臨床検査技師会

発行責任者 湯浅宗一

編集者 佐々木由紀子

小原 伸之

白波瀬浩幸

〒602-8155 TEL・FAX 075-821-6711

京都市上京区千本竹屋町主税町 910

(京都保健衛生専門学校内)

## CONTENTS

INFORMATION	第 8 回新入・転入会員研修会のご案内
PURSUIT	臨床検査技師と採血問題
REPORT	第一回京都細胞診ワークショップ
PROCEEDINGS	理事会議事録
CONTRIBUTION	スズメバチに刺されないために

## 第8回新入・転入会員 研修会のご案内

新入・転入会員研修会は、新たに会員になられた方を対象に、「技師会ってこんな活動しているところ」を紹介することを目的に、毎年開催しています。

技師会活動をPRすることを目的とした会ですので、新入会員以外でもご参加いただけます。

内容はクイズ形式による京臨技の紹介、講演、懇親会です。昨年度、講師としてご参加いただいたNPO法人「医療情報の開示を推進する会」の石塚眞里氏から、その司会進行ぶりや、言葉使い、会場出席者との軽妙なトークは、絶賛の言葉を頂いたほど楽しい内容になっています。

新入・転入会員の方、またその先輩方々、またここ何年も新人が入ってきていないけど技師会活動を知りたい方など、ふるってご参加くださいますようご案内いたします。(副会長 白波瀬)

日時：平成 18 年 09 月 08 日 (金)

会場：京都教育文化センター

司会：林 孝俊 技師 (京都民医連中央病院)

若栗 昌枝 技師 (洛和会音羽病院)

講師：川村 輝夫 氏

(元 KBS 京都ディレクター)

主題：「私の音楽道」

申込み・お問合せ：洛和会音羽病院 若栗昌枝

TEL/FAX 075-593-2163 (直通)

## 講師著作のご紹介

### ちこんきディレクターの音楽道(みち)

～川村輝夫：著～ 図書出版 文理閣

内容(「BOOK」データベースより)

名門「関学グリー」指揮者をつとめ、60年代関西フォークの舞台裏にどっかと座り、青山音楽賞の審査員のひとりとして、ジャズ、ブルグラスからクラシックまで音楽を愛し、蔵の中で蓄音機の針音を愛し続ける男が綴る"音楽ディレクター道"



## 臨床検査技師と採血問題

京都医労連検査対策委員会 京都検査を考える会  
文責 京都城南診療所 佐々木由紀子

### 【はじめに】

2003 年秋に、真空採血管の未滅菌問題で厚生労働省から真空採血法の指針が出されました。しかし、大部分の患者さんでは実際に採血ができない、できにくいということがあり、職場は混乱しました。その後さまざまな経過を経て、2004 年に日本臨床検査標準化委員会 (JCCLS) から真空採血法のガイドラインが出されました。

臨床検査技師法で検査技師に採血が認められたことは、検査は採血から始まるということであるにもかかわらず、厚生労働省通達ではいくつかの規制がかけられています。

そのような法的な問題も含め、現場の私たち自身が、採血業務の安全・改善・向上に向けて、技術・精度管理の面から、率直に論じ合い、対策を持つことが必要と考えました。そのためにも現状を把握することから始めようと、京都を中心に近畿各県にアンケートを実施しました。

### 【アンケート実施概要】

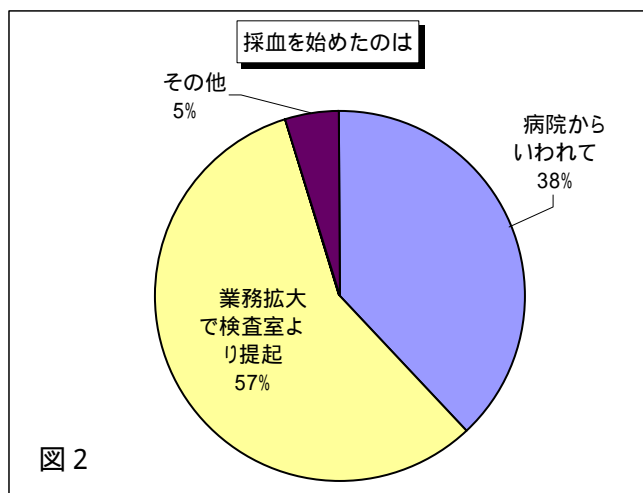
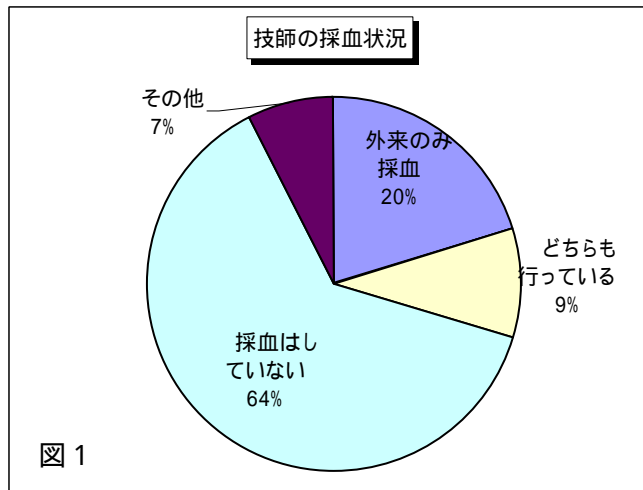
アンケート実施期間 2005 年 11 月～2006 年 1 月

対象施設 120 施設

回収状況 58 施設

### 【アンケート結果】

1. 技師が採血をしているところは、58 施設中 16 施設、その内病棟、外来ともに行っているところが 5 施設、残りは外来のみ。その他では健診、職員健診時のみ採血が 4 施設でした (図 1)。
2. 技師採血を始めた動機として 1 番多かったのは「業務拡大」、2 番目に多かったのは、「病院から言われて」でした (図 2)。時期として多かったのは、「看護体制がとれなくなったとき」でした。
3. 採血についての研修は採血業務に入る前に行なわれるところが多く、定期的に行なっているところは少数でした。



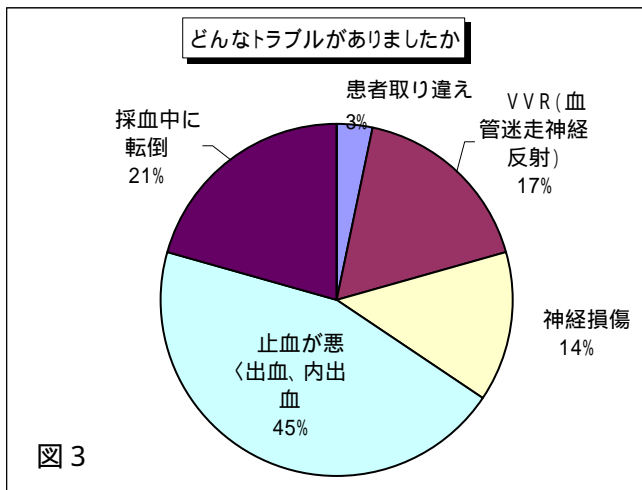
4. 真空採血のガイドラインをはじめ、院内感染対策マニュアルや患者急変時のマニュアルなどの整備については、ほとんどのところが確立されていましたが、学校教育程度、また、採血者まかせ、などというところもありました。

採血のガイドライン	件数
JCCLS	11
東京都衛生局	2
厚生労働省	9
その他	8

採血事故時マニュアル	件数
ある	18
ない	8
今、検討中	9

採血前手順マニュアル	件数
ある	17
依頼時に情報がついてくる	8
ない	10

- 5. 臨床検査技師法・厚生労働省通達などの検査技師の採血の法的な規制については「知っている」という施設が多く、どう対応しているかに関しては、「病院と文書を交わしている」が1カ所。「臨床検査適正委員会の中で確認した」所もありましたが、大部分が「特に何もしていない」、「問題があるとは思えない」でした。
- 6. トラブル時には「現場で対応」が多数でしたが、トラブルの種類・程度、現場に誰がいるのかで対応の違いは大きいといえます。トラブルには下図の内容がありました(図3)。

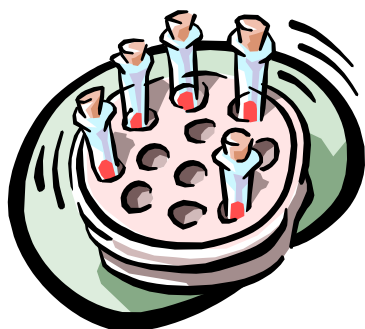


- 7. 患者誤認対策として、下表のような対策がとられていました。

患者取り間違い防止策	件数
フルネームで呼ぶ	17
呼んだ後に生年月日を言ってもらう	8
採血内容を患者さんに確認する	2
番号で呼び患者さんに氏名を言ってもらう	7
その他	4

- 8. 技師採血のメリットとして多かったのは、「採血管の間違いがない」「採血からの精度管理ができる」でした。

技師採血のメリット	件数
採血からの精度管理が出来るようになった	17
容器間違いがなくなった	21
検査説明がその場で出来る	12
その他	6



- 9. 技師採血のデメリットの中に、意見として「採血技術の問題」があり、また他職種からの意見として、看護師から「もっと練習してほしい」といわれる、などがありました。医療技術者として一定レベル以上の技術を保つために理論も含め練習を重ねることが必要です。同時にチームとしての研修体制の確立も必要と考えられます。

【考察とまとめ】

採血は検査技師にとって基本的な技術のひとつであり、患者さんの体を傷つける危険な医療行為の一つです。神経損傷は、約1万回に1回、重篤な症例はそのうち数%とされています。採血に伴う危険についての情報は、事前に患者さんときちんと共有しておく必要があるでしょう。

採血現場から看護師が引き上げ、検査技師にのみ採血をまかされているところでは、患者急変時などどのように対応しているのでしょうか。SpO<sub>2</sub> や血圧・脈拍・呼吸数など、急変時に必要な事で検査技師ができることは今の法律では限られています。今後、技師採血が増えてくるにしたがって、法整備は当然の事ながら対応できる教育や訓練が必要になってくることが考えられます。

最近、入院日数の短縮と言う流れの中で、外来患者さんが重症化しているという状況があります。外来採血室でも全身状態の悪い患者さん、採血困難な患者さん、車椅子の患者さんが増えています。時間や手間のかかる採血が多いということ現場だけでなく全体の認識にし、トラブル時には重大な事態に至らないようなシステム作りが必要です。また血管迷走神経反射(VVR)や神経損傷などが起こったときは個人責任に帰するのではなく、病院・施設の責任で診察・治療・検査をする体制の確立が求められます。

### 精度管理事業

第22回京臨技精度管理調査のご案内

9月中旬 参加申込み用紙配布(施設単位)

10/6(金) 参加申し込み締め切り

10/26(木) サンプル配布

積極的なご参加をよろしくお願いいたします



## REPORT

## 研修会報告

開催日 : 2006年6月25日(日) (11:00~17:00)  
 会場 : 京都保健衛生専門学校  
 視聴覚教室および実習室  
 参加人数 : 34名(会員30名、非会員4名)

去る6月25日(日)に日本臨床細胞学会京都府支部検査士会と京都府臨床検査技師会細胞検査研究班の共催で、第一回京都細胞診ワークショップが開催されました。

テーマ：泌尿器系の細胞診について

( 講義およびワークショップ「検鏡実習」)

講師：桜井 孝規 先生《講義》

(京都大学医学部附属病院 病理部)

岸川 敏治 技師《ワークショップ》

(京都府立医科大学附属病院 病理部)

講義内容：

泌尿器系の細胞診、主に尿細胞診について講義して頂きました。尿中細胞の見方と考え方について、スクリーニングの進め方や異型細胞の読み方、自然尿とカテーテル尿など検体採取方法の違いによる細胞所見(出現様式や細胞形態)の読み方、また、誤陰性や誤陽性を防止する為の注意点などについて、症例を提示しながら説明して頂きました。

尿細胞診標本のスクリーニングの進め方として、まず弱拡大で細胞成分の量(炎症細胞、尿路上皮細胞)と背景(壊死性が炎症性、クリーンか)を観察する。

つぎに、中拡大で上皮細胞の出現様式(孤在細胞と細胞集塊の割合、細胞集塊はシート状か、重積性か?)を観察する。また、細胞集塊辺縁からの細胞遊離の有無



講師：桜井 孝規 先生

# 第一回京都細胞診 ワークショップ

テーマ：

『泌尿器系の細胞診について』



講義風景

も併せて観察する。そして、強拡大で個々の細胞の観察(細胞の大きさ、細胞質の染色性、N/C比、核型、クロマチンの状態と量、核小体の有無)を行う。

正常人の自然尿中に出現する細胞は、男性では孤在した少数の移行上皮細胞と扁平上皮細胞、成人女性では、男性に比し扁平上皮細胞が多く認められる。

正常の移行上皮細胞は多形性を示し、表層は大型多角形で細胞質は泡沫状、中層付近の細胞は細胞質の一边が細長くなっており、深層(基底側)に行くほど円形で細胞質は緻密になる。核はリンパ球等大から2倍程度である。

自然尿に比し、カテーテルや内視鏡操作、感染による炎症反応、結石がある時に採取された尿は、尿路上皮が機械的に剥離される為、シート状や乳頭状などの細胞集塊が多く採取される。また、細胞個々の変化としては、機械的刺激により、反応性にN/C比の増大、核形不整、核小体の著明化が起こる。それらの変化は腫瘍細胞と誤認され易いので、腫瘍細胞との鑑別を要する。

鑑別点としては、腫瘍細胞に比し、N/C比の増大、核形不整、核小体の著明化は、ほぼ同様に認められるが、程度が低い点と、集塊の結合性が強く、形状も均一で、集塊からの核の突出像や相互封入像、核クロマチンの増量が少ない点や腫瘍細胞は核偏在傾向が強いが、良性の細胞は核中心性が多い。また、細胞質は泡沫状(空

胞状)を呈することが多いなどの点が鑑別点となると思われる。

低異型度尿路上皮腫瘍の特徴所見としては、良性の細胞に比し出現細胞数が多い、出現形式は孤在細胞と数個から数十個の集団、N/C比が大きい(50%以上)、細胞質は均質でやや薄い(泡沫状の消失)、核形不整(核溝が多くなる)や細胞質辺縁の不整が見られる、核の大きさはリンパ球の3倍程度、核の偏在傾向がある。

高異型度尿路上皮腫瘍の特徴所見としては、低異型度に比し、著しいN/C比の増大、核の大小不同や核形不整、クロマチンの増量があり、出現形式は孤在性や重積性のある大集塊で認められ、集塊の結合性は疎になる。

移行上皮癌の総合的な特徴所見(腺癌など他の腫瘍にも当てはまる所見だが)としては、不規則重積性の集塊で結合性が低下する、集塊内での核間距離の不均等化、細胞密度の増加、核分裂像の増加などがあげられる。

上部尿路上皮細胞の特徴として、正常でも異型細胞でもクロマチン量はさほど変わらない、また、集塊の見方として、シート状集塊の中に所々重積した乳頭状集塊が混在する場合は悪性を疑う。

誤陽性を防止する為の注意点としては、出現細胞数が少ない時は、注意深く細胞を観察する。一つの所見にとらわれず、多数の所見を総合的に判定する。

誤陰性(見落とし)を防止する為の注意点としては、異型の少ない癌であっても通常は背景に正常上皮細胞が含まれているので、その細胞と比較して小さな所見でも見落とさない様にする。

以上の様に、尿細胞診は尿中に剥離し、種々の程度に変性した尿路上皮細胞を観察するもので、採取方法や採取時間(早朝尿か随時尿か)により、細胞の出現様式や細胞形態が変化する為、検体に依じて、細胞の見方、考え方などの判定基準を変え、それらの細胞学的特徴をとらまえてスクリーニングを進めて行く必要がある。

誤陰性や誤陽性を防止するために各々の過程の細胞所見を熟知した上で日頃のルーチンのスクリーニングに望まなければいけないと思いました。

ワークショップ(検鏡実習)：

最初の一時間で、尿路細胞診の実際(泌尿器系の細胞診)をテーマに35症例の細胞や組織画像を説明しながら講義して頂きました。その後、各症例(35症例)について、検鏡実習を行いました。

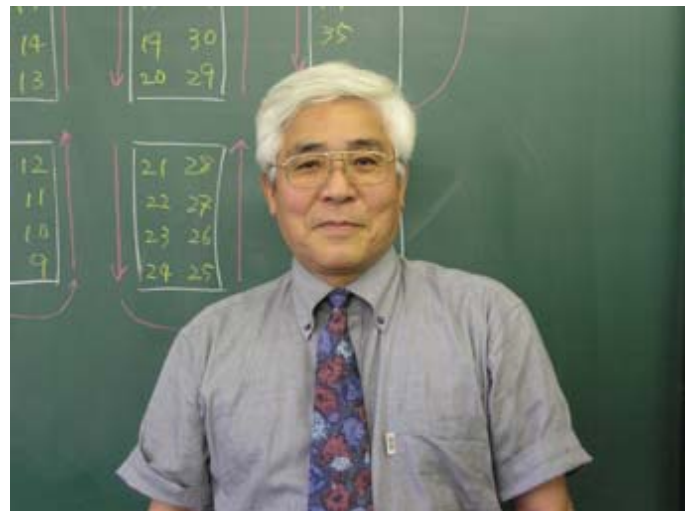
講義内容は、尿中の低悪性度尿路上皮腫瘍、G1の細胞の出現形式(自然尿)、G1の細胞の特徴、G1細胞像のスクリーニングの実際(自然尿)、乳頭状尿路上皮腫瘍 G2, G3の細胞像の特徴、非乳頭状腫瘍、扁平上皮癌、腺癌、カテーテル尿、回腸導管尿、良性異型細胞などについて、詳しく講義して頂き、また、実際の症例の細胞や組織画像を交えて説明して頂きました。

その後、講義内容に沿った症例(35症例)の検鏡実習を行いました。



検鏡風景

最後に、桜井先生、岸川先生におかれましては、今回のワークショップに際し、ご多忙中とは存じますが、貴重な症例をご提供頂き、大変有難う御座いました。今回のワークショップで学んだことを念頭において毎日のルーチンに励んで行きたいと思えます。世話人一同厚く御礼申し上げますと共に、今後ともお力添えよろしく御願ひ致します。



講師：岸川 敏治 技師

また、このワークショップは第一回目、今後とも続けて行きたいと思えますので、会員の皆様でご意見、ご要望が御座いましたら世話人までご連絡下さい。(名嘉 正勝：国立病院機構南京都病院研究検査科)

## 平成 17 年度 京都府臨床衛生検査技師会 第 10 回理事会議事録

日 時：平成 18 年 04 月 06 日（木）19:30～20:40  
 場 所：京都保健衛生専門学校 大会議室  
 議 長：清井  
 出席理事：清井・白波瀬・芦田・石澤・今井・江見・荻野・小澤・菊池・白井・杉浦・林(孝)・若栗  
 委任状による出席理事 なし  
 欠席理事：山口・廣瀬・小坂・佐々木・林(雅)  
 欠席監事：山方・宮本  
 顧問：田畑  
 日臨技理事：湯浅

## 【報告事項】

## 1. 会長行動報告

- 03/17：50 周年記念誌編集実行委員会（京大検査部会議室）
- 03/25：日臨技 定期総会（東京 大森東急イン）
- 04/04：京都病院学会 第 4 回実行委員会（府医師会館）

## 2. 各理事・事業部報告

## 江見理事より

- ・ 4 月 5 日現在の会員数は 927 名（新・再入会 95 名含む）
- 小澤理事より
- ・ 4 月分行事予定、会報、総会案内、近畿フォーラム案内発送終了
- ・ 平成 18 年度第 1 回日臨技定期総会及び平成 18 年度京臨技定期総会 出席票・委任状の回収締め切り 04 月 26 日
- ・ 総会議案書 5 月 16 日発送予定
- ・ 3 月 24 日学研都市病院内覧会へ出席

## 白波瀬副会長より

- ・ 会報 No.13（平成 18 年 4 月 1 日号）発行
- ・ ホームページ広告申込み：パイエルメディカル(株)1 社（3 月 28 日現在）

## 湯浅日臨技理事より

- ・ 今年度で日臨技理事を退任（日臨技定期総会で確認）

## 【検討議題】

## 1. 京臨技定期総会議案書原稿集約状況確認

- ・ 事業部・会計・学術部の報告及び計画・予算案の確認
- ・ 記念講演；演題『DPC 導入における病院・検査室の戦略』講師 小川洋子氏（株式会社 SRL）（承認）

## 2. 京臨技定期総会当日役割分担について

- ・ 定期総会の進行表及び役割分担と記念講演の司会の確認（承認）

## 3. 京臨技役員選挙について役員選挙について 4 月 5 日で立候補を締め切り

- ・ 現役員以外に立候補者はなく、通信投票は省略する（承認）

## 4. 50 周年記念誌について

- ・ 一部に誤植を確認したため、正誤表を定期総会議案書と共に 5 月に発送する（承認）

## 5. 什器備品の修理について

- ・ 京臨技から貸与されている PC が故障しマザーボードの交換が必要（承認）

## 6. 懇談の申し入れについて

- ・ 政党団体から医療制度についての懇談の申し入れがあり、3 役が対応で確認（承認）

## 次回理事会開催予定

平成 18 年 05 月 11 日（木）18:30～

京都保健衛生専門学校 大会議室

以上で本日の理事会を終了

議事録署名人 江見 安一  
 白井 孝夫

日 時：平成 18 年 05 月 11 日（木）18:30～20:30

場 所：京都保健衛生専門学校 大会議室

議 長：清井

出席理事：清井・白波瀬・小坂・芦田・石澤・今井・江見・荻野・小澤・菊池・佐々木・林(孝)・廣瀬・山口・若栗

委任状による出席理事 杉浦・白井

欠席理事：林(雅)

欠席監事：宮本、山方

顧問：田畑

日臨技理事：湯浅

## 【報告事項】

## 1. 会長行動報告

- 04/08：近畿理事会 予算委員会（大臨技事務所）
- 04/27：京臨技 事業報告・会計監査（京大検査部会議室）
- 05/02：次年度新体制についての協議（清井、小坂、白波瀬、小澤、芦田、今井、湯浅）（京都保健衛生専門学校小会議室）
- 05/06：近臨技 会長会議（大臨技事務所）

## 2. 各理事・事業部報告

## 江見理事より

- ・ 5 月 8 日現在の会員数は 916 名（新・再入会 43 名含む）
- 小澤理事より
- ・ 平成 18 年度 第 1 回日臨技定期総会 委任状 484
- ・ 平成 18 年度 京臨技定期総会 委任状・(出席票) 452・(29) (5 月 10 日現在)
- ・ 5 月分行事予定 5 月 16 日発送予定（総会議案書を同封）石澤理事より
- ・ 会誌 No.2（精度管理特集号）は 6 月行事予定と共に発送予定

## 【検討議題】

## 1. 京臨技定期総会議案書原稿集約状況確認

- ・ 予算の修正の確認（承認）
- 2. 京臨技定期総会当日役割分担について
- ・ 総会、記念講演会進行の確認と報告および司会者の一部変更、役割分担の一部変更の確認
- ・ 記念講演  
演題；『DPC 導入における病院・検査室の戦略』  
講師；小川洋子 氏（株式会社 エスアールエル）（承認）

## 3. 近臨技より仏語圏アフリカ臨床検査技術コースについて

- ・ JICA 西アフリカ研修生との検査技師学生との交流企画への参加について（検討）
- ・ 京都府・滋賀県での研修会の企画（京都の下水道又は琵琶湖の淡水魚について）（承認）

## 4. 『研究班会計業務内規』/ 『主催・共催・協賛・後援取扱内規』の改定案について

- ・ 改定内容について検討、次回理事会で再確認する
- ・ 承認後、学術委員会を開催（6 月 8 日）、研究班班長と会計に説明する（承認）

## 5. 平成 18 年・19 年度 京臨技役員について

- ・ 総務部、事業部、学術部と委員会の再編と役割分担について検討する（編集・精度管理・会計・学術・生涯教育などの担当と運営について）（検討）

## 6. 新旧理事・班長懇談会について

- ・ 総会終了後に開催（承認）

## 7. 50 周年記念誌について

- ・ 京臨技 『五十年の歩み』の正誤表に確認、次月行事予定などと共に送付する（承認）

## 次回理事会開催予定

平成 18 年 06 月 01 日（木）18:30～

京都保健衛生専門学校 大会議室

以上で本日の理事会を終了

議事録署名人 芦田 英之  
 菊池 鈴子



## 平成 18 年度 京都府臨床検査技師会 第 2 回定例理事会議事録

日 時：平成 18 年 07 月 13 日（木）18：30～20：30  
 場 所：京都保健衛生専門学校 大会議室  
 議 長：芦田  
 出席理事：白波瀬・芦田・小澤・荻野・江見・丹羽・林（雅）・  
 白井・今田・豊山・小原・大田・佐々木・若栗・林（孝）  
 委任状による出席理事 広瀬・石澤・今井  
 欠席理事：湯浅  
 出席監事：清井・山口  
 出席顧問：田畑  
 事務局：山方

## 【報告事項】

## 1. 会長行動報告

## 日臨技関係

06/06：役員推薦委員会委員委嘱状（平成 18 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

06/09：代議員委嘱状（平成 18 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

06/30：役員推薦委員会・選挙管理委員会合同会議

## 近臨技関係

06/14：近臨技理事会

06/18：仏語圏アフリカ臨床検査技師研修会担当会議、国際貢献専門委員会

## 京臨技関係

06/08：学術委員会、編集委員会

JICA 仏語圏アフリカ臨床検査研修

10/26：午前 京都洛西浄化センター見学（京臨技担当）に関する申請書提出

## 2. 各理事・事業部報告

白波瀬副会長より

07/06：18:30～19:30 京都府糖尿病協会 顧問・理事会出席（京大会館）

内容：・H17 年度会計報告、平成 18 年度糖尿病週間行事詳細未定、ウォークラリー開催 10/22：宝ヶ池にて、くらしと健康展 医師会と共催で医師派遣し医療相談受ける

第 42 回糖尿病協会近畿地方会開催（11/18：国立京都国際会館）第 43 回日本糖尿病学会近畿地方会と共催学会長：葛谷英嗣（国立病院機構京都医療センター）

江見理事より

07/07 現在の会員数 929 名（新・再入会 62 名含む）

荻野理事より

・近畿医学検査学会（福井）一般演題の座長候補者推薦を各研究班班長と理事に依頼中。

・06/14：近臨技チーム医療推進委員会 18 年度第 1 回会議（大臨技事務所）

『21 世紀を担う臨床検査技師実践セミナー・福井 2006』を開催予定

日時；平成 18 年 10 月 21 日（土）18:00～21:30、

場所；福井市フェニックス・プラザ

1,糖尿病療養指導 2,感染対策 3,NST4,チーム医療導入よろず相談の 4 コースのセミナー。2 の感染対策は府立医大の小森さんが企画。石川・富山県にも参加の呼び掛けをする。

『だれにでも出来るチーム医療実践研修会』

- チーム医療参画のノウハウを一緒に学びませんか？ - を開催予定（日臨技主催、近臨技チーム医療推進委員会後援）

平成 19 年 2 月 11 日・12 日

会場：兵庫県常盤医療短期大学

小澤理事

・定期案内発送終了：7 月行事予定、京臨技会誌、研修会案内

・新会長、新役員の挨拶文発送終了：他技師会、関連団体計 58 施設

・法人登記書類・京都府報告書類作成終了

・次回定期案内発送予定日：07/20

編集委員会

・No.14 会報発行終了

## 【検討議題】

1. 会員講師料について 1 人 5000 円（承認）

2. 非会員の研修会参加方法について 事務局で届け出書を検討（承認）

3. 認定一般検査技師推薦と申請料について 佐伯仁志（国立病院機構京都医療センター）堀岡真人（紫野診療所）（承認）

4. 職場アドレスでの ML 参加の件 変更無く（承認）

5. 理事のリンクス加入（再） 資料を再提出し（継続）

6. 仏語圏アフリカ臨床検査技師研修会 京臨技担当分（10/26）（継続）

7. 京臨技事務所の件 各都道府県に事務所取得に対してのアンケート調査し結果を踏まえ事務所検討委員会を開く（継続）

8. プライマリケア協議会 18 年度の役員登録の件 湯浅、白波瀬（承認）

9. 京都府医療推進協議会主催イベント「これからの日本の医療・保健・福祉を考える」（仮称）に参加出展の問い合わせについて 回答期限 07/20

日時：平成 18 年 10 月 14 日（土） 場所：京都市勤業会館「みやこめっせ」出展内容は検討（承認）

10. 平成 18 年度新入・転入研修会 09/08（金）予定 内容はクイズ形式、講師元 KBS 京都ディレクター川村 照夫氏（承認）

11. 行事予定など定期発送について 発送方法などについて検討（継続）

12. 平成 18 年度京都府保健医療功労者等表彰の候補者について 期限 08/08、対象者：個人と団体、以前に京臨技は団体として表彰されたはずなので今回は個人が対象となります。表彰委員会で 55 才以上の方から該当対象者を検討（承認）

13. 京都私立病院協院内感染対策推進事業運営委員会からの要請 支援部員の山下知成部員の退任に伴う新部員の推薦依頼、市立病院 林 彰彦氏を推薦

（承認）

14. 第 11 回近臨技主催輸血勉強会（担当府県が京都）の運営費負担依頼負担金額 5 万円

（承認）

15. くらしと健康展での出展機器について 眼精疲労の測定器で検討（承認）

16. 議事録作成担当を次々回から事務局員の山方さんに変更する。（承認）

次回理事会開催予定

平成 18 年 08 月 10 日（木）18:30～ 京大病院会議室

以上で本日の理事会を終了

議事録署名人 江見 安一

白井 孝夫

CONTRIBUTION

投稿

## スズメバチに刺されないために

京都第二赤十字病院 芦田 英之

ハチに刺されてこわいのは、2度刺されると命にかかわることがあるからです。

刺されると抗体が出来て、2度目にはアレルギー反応が生じます。腫れあがって苦しい思いをしますが、命にかかわる場合もあります。

ハチを追いかけたりするとフェロモンを放出し、匂いに誘われて仲間が集まってきます。匂いの成分は、2-ペンタノールなどアルコール系2種とエステル系揮発性物質が知られています。この成分はアイスクリームやバナナ、りんご等の果物、香水や整髪料にも含まれているそうです。

ハチがいる付近で、これらの食品を食べると寄ってくるので要注意です。

クマは蜂蜜が大好き。巣を見つけると食べてしまいます。だから、ハチにとってクマは天敵です。ハチは黒い色を目の敵にしているのは、おそらく、クマとの間に生存競争があるためです。

ハイキングに出かける時は、黒い服装を避けて香水や整髪料も控えるように。

なお、ハチが寄ってきたときに急に逃げ出すのは厳禁。ハチが驚いて攻撃してきます。静かに、スーッとしゃがむと通り過ぎて行きます。

その他にも、昆虫と動物の間には敵対関係や共存関係が存在します。

子供の頃に夢中になって読んだ昆虫記や動物図鑑を思い出しました。

## 『第33回くらしと健康展』ご案内



来る9月16日(土)・17日(日)2日間にわたり、京都府総合見本市会館 - パルスプラザ(伏見区油小路道赤池上) SKY ふれあいフェスティバル 2006 会場併設にて、「第33回くらしと健康展」が開催されます。

京臨技では毎年、京都府医師会等の医療関連団体と共催し、臨床検査技師のPRと府市民の健康づくりの応援をしています。

今年は血糖検査、心電図、目の疲労度チェックを行います。一緒に参加してくださる会員を募ります。希望者は事務局までお問い合わせください。

## 編集後記

「一緒に厄払い行きませんか？」

昨年は“前厄の年”でしたが何事もなく無事に済みそうだと安心していました。ところが、やはり油断していたのでしょうか？年末にスキーに行ったら転倒して右足の腓骨を骨折してしまいました～(>\_<) \イタタ・・

骨折したのがクリスマスイヴだったので家族には「サンタさんからのプレゼント？」って言われました。(そんなアホな～)スキー歴は20年近くになりますが怪我をするのは初めてです。

骨折直後に職場のスタッフに迷惑をかけると思いメールすると『超音波のプロブは持てますよね？』って言う暖かい返事を頂きました。

ギブスをしていて何が辛かったかと言うと、両手と左足が筋肉痛になった事、そして何よりも辛いのが患者さんから『どうしたんですか？』『大丈夫ですか？』と心配して頂くことでした。『スキーに行ってこけました、自業自得なんです！』って答えて笑ってもらえるとホッ！とするのですが、患者さんに『大変そうですね』『お大事に』『頑張ってください』など励ましの言葉を貰うと大変有難い一方で逆に凹みました。“健康体でない患者さんに要らない心配を掛ける”ことを痛感しました。



更に今年は本厄です。今回以上のことが起こらないように気を引き締めて一年を過ごしたいと思っています。今年が厄年の方、私と一緒に厄払いに行きませんか？(ToT) / ~~~

(京都医療センター 小原伸之)